

下野市立祇園小学校

1 学校課題

自分のよさを生かし、互いに学び合い高め合う児童の育成
～主体的・対話的で深い学びのための授業作りを目指して～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

昨年度までに引き続き、3年次の研究主題である。子どもたちが「生きる力」を身に付け、個として確立すること、確立した個が身に付けた能力をさらに伸ばすことで自信をもち、そこで得た力がその後の自らの人生を切り開く力となっていくことを「自分のよさを生かす」と捉え、研究主題を構成する一つの視点とした。また、学校教育において、子どもたち同士で教え合い学び合う経験を通して、そこで出会う自分とは異なる多様な見方、考え方に気付き、自分の新たな力としていくことも重要であると考え「互いに学び合い高め合う」ことをもう一つの視点とした。

今年度も研究教科を算数・理科として、これまでの研究の蓄積を生かしながら、さらなる授業改善に取り組み、研究主題に迫っていきたいと考えた。さらに、本校においても個人差が顕著になりつつあり、対応を行う必要が出てきたため、研究主題に迫る中で、それぞれを伸ばすことができるようにしたい。

(2) 研究の仮説

研究の視点① 自分のよさに気付き、よさをさらに伸ばそうと努力する児童の育成

指導体制や方法の工夫などによる個に応じた指導の展開により、自分のよさや可能性に気が付いた児童は、学ぶことへの興味や関心をもち、さらに自己の力を伸ばそうと努力することにつながるであろう。

研究の視点② 他者との関わりの中で、多様性を認め、学び合い高め合うことができる児童の育成

学習形態や指導方法の工夫などにより、他者と関わることで気付いた多様な見方・考え方や価値観を、自らの考えに取り入れることで、自分の考えが広がり深まることに気付いた児童は、他者と協働することでさらに自分を高めようとするであろう。

研究の視点③ 「主体的・対話的で深い学び」実現のための教師の指導力の向上

教師が、「主体的・対話的で深い学び」実現のための指導に関する理解を深め、効果的な学習指導を展開することができるなど、指導力を向上させることにより、研究主題の実現につながるであろう。

3 研究内容

(1) 研究の方法

①問題解決的な学習の推進

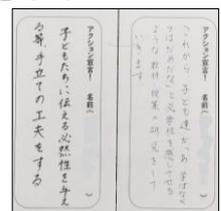
特に、自力解決の場としての「一人学び」の時間の確保、及び思考力・判断力を高める「書く活動」の設定

②タブレットなどのICTを活用した授業実践

子どもたちの思考を助けるツール、及び教師の効果的な指導のためのツールとして

③授業研究会の充実

参観者全員で子どもの学びの様子を見取り、語り合える授業研究会の工夫
授業研究会で得たことを各自が明日からの授業に生かすための取組（アクション宣言等）



【写真①アクション宣言】

(2) 授業公開を通じた課題への取組

①研究授業

指導案検討は、算数・理科の各部会で実施

日 時	学年	単元名	課題追究のための手立て等
11月17日(水)	3年	理科「光の性質」	児童が主体的に話すための教材の工夫【写真②】
12月15日(水)	1年	算数「大きい数」	ICTを活用した児童の考えの共有【写真③】

②一人一授業公開

学校課題の具体的方策を踏まえた実践

6月から12月までの期間に実施



【写真②】



【写真③】



【写真④】 発達段階に合わせた書き方の型

③その他

日 時	内 容	課題追究のための手立て等
5月31日(月)	下野市道徳教育研修会 授業公開 4年 道徳「えがおのクリニックラウン」	総合的な学習の時間「みんなにやさしいまち」との関連
6月28日(月)	下野市人権教育研修会 授業公開 5年 学活「インターネットを使うときに大切なことを考えよう」	場面絵について感じたことを書いて話し合う活動の設定
8月 5日(水)	理科実技研修 (S&U コラボ事業)	仮説の立て方・探究的な学習の進め方についての研修

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

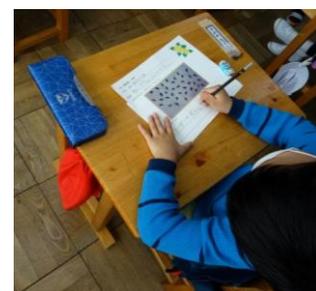
①問題及び本時のめあての提起の仕方を工夫してきた。また、目的をはっきりさせたり、他教科と関連させたりして、学習に取り組むための動機付けを大切にして授業の構成を考えた。これらのことは、児童が自分の考えをもち、活発な意見交換をすることにつながった。主体的・対話的に学習に取り組む児童の様子が見られるようになった。

②ペアやグループでの対話的活動が難しいコロナ禍でも、普段の一斉授業の中で、教師と児童のやりとりを見せることで、「学び合い」について学ばせることができた。

(2) 課題

①一人一授業の公開を行っても、参観することのできない教員が多くいることもあった。年度当初の時間割編成を工夫してお互いの授業を見合える環境を整え、教師一人一人の授業の質を高めることにつなげたい。

②コロナ禍ということもあり、書いたものを見せ合ったり、教師がつないで話し合う中で「学び合う」学習形態が多かった。今後は、さらに、他者の考えを理解して、自分の考えを広め、深められるよう、児童一人一人のコミュニケーション力を向上させていきたい。



【写真⑤】 算数の授業 他教科(生活科)との関連